

## 大嘗祭

第二百二十六代天皇陛下が皇位に即かれ、十月に即位の礼、十一月に大嘗祭が行われました。

天皇のご即位後、最初の宮中の新嘗祭を大嘗祭というわけですが、通常の新嘗祭には御料地の米・粟をお供えするのに対して、大嘗祭は、亀卜の占いによって全国から選ばれた二つの地方の米・粟をお供えするという違いがあります。悠紀（ゆき）地方・主基（すき）地方という二つの地方が全国を代表するものとして定められ、この二つの地方からさらに選ばれた斎田から収穫された米と粟の御飯とその米から醸された酒がお供え物の中心となります。

このほか魚介類・果実などの神饌を天皇陛下御自らお供えされ、また祭典の中で米飯・粟飯・酒を自ら召し上がられ、天照大神・天神地祇に国家国民の安寧と五穀豊穡を祈願なさることを中心にしています。悠紀は齋忌、主基は次の意味とされますが、齋戒して清浄な供饌米を作る意味があると考えられます。神饌のうちで粟が米とともに並べられているのは、雑穀の代表として米と同様に重視されたことを表しています。

このほかに全国各地の特産物が「庭積机代物（にわづみのつくえしるもの）」という供覧神饌としてお供えされ、全国から農水産物が集められ、御即位をお祝いする意義があります。

古くは、御所の一角に作られた大嘗宮からやや離れたところに神饌が集められ、整えられて標（ひょう）の山という大きな山車にしつらえられ、大嘗宮まで引いて運ばれ、都人らの祝祭でもありました。祇園祭などの山鉾や各地の山車の起源ともいわれています。

なお、大嘗祭・新嘗祭ともに本来は旧暦十一月の中の卯の日に行

われるものであり、現在の暦では十二月中旬から一月上旬になり、冬至の候に当たります。太陽光がもつとも弱くなった冬至の時期に農耕社会でもっとも重要な太陽の恵みに感謝し、一陽来復とともに新たな生命がよみがえることを表していると考えられます。

また、天孫瓊杵尊（にぎのみこと）が天照大神から授かった高天原の稲穂をもとに地上でも耕作するという、米作りの起源神話を追体験になり、天皇が皇祖と一体になって国家と国民の繁栄を祈られる意味があるともいわれています。

## 近江神宮外苑公園

近江神宮の東方、大津市二本松の湖岸近くに造成された近江神宮外苑は、戦後長らく大津びわこ競輪場として使われてきましたが、競輪事業は八年前に廃止になりました。その跡地が、公園としては

「外苑運動場」門柱



「近江神宮外苑公園」、商業施設としては「ブランチ大津京」として整備され、このほど開業しました。公園部分が大きくとられ、スポーツやイベントにも利用可能で、災害時の避難場所としても利用されることになっています。従来から都市計画上の名称として使われていた近江神宮外苑公園の名が正式なものとして残されました。

（通称「ブランチパーク」）

外苑は近江神宮御創建当初、陸上競技場、野球場などが設けられ、スポーツの殿堂ともいえる場所でした。二本松交差点に近いこの一

角には「近江神宮外苑運動場」の門柱が残されています。競輪場時代は競輪関係者以外の人が見ることはありませんでしたが、今回新たに整備されたことで、地面が若干嵩上げされた関係で一部埋もれているものの、一般利用者の通る構内道路沿いとなり、一般の人に目に触れる場所となりました。

元来は神宮道沿いの入口に門柱があり、その門を通って階段を降り、外苑運動場に入ったはずですが、競輪場となったときに階段の下に移されたものと思われます。

## 大津宮遷都と鼠

明年令和二年は子年。天智天皇称制五年（六六六年）冬、京都の鼠が近江に向かって移るという記述が日本書紀にあり、これが翌年三月の大津宮遷都を暗示するものとされています。京都とは当時の都であった飛鳥のことで、飛鳥から見て大津宮はほぼ真北、子の方角にあたります。他にも難波に向かって行った、大和に向かって行ったなど、孝徳天皇朝から数回の同様の記事があります。鼠が家にいると繁栄する、鼠がいなくなると不吉とされていたらしいこととともに、鼠に予知的な能力があると考えられていたらしいことが伺われます。

## 鬼室神社・鬼室集斯の墓

天智天皇の近江朝廷には多くの百済人が渡来しました。その中で著名な人に、学者でもあり近江朝廷の学職頭を務めた鬼室集斯（きしつしゅうし）がいます。鬼室集斯は蒲生郡に住んだと日本書紀に書かれ、同郡日野町には鬼室集斯をまつる神社があります。その境内にはその墓と伝



伝 鬼室集斯の墓

えられる石祠があり、地元民によって護られてきました。その父の鬼室福信が韓国扶餘郡の祠堂に祀られていることから、地元ではこの伝承をもとに姉妹都市の提携関係もあり、韓国との交流が行われています。日韓関係が多難な現今ですが、近江朝廷の時代、百済とは親密な関係にあり、今後に活かしていきたいものです。

なお、日野の付近は新たな都の建設地を求めて検分されたことでも知られています。

## 年末年始の祭典等

十二月十三日午前九時	門松立て
十二月二十日午前九時	煤払祭
十二月三十一日午後三時	年越大祓式（続いて）除夜祭
一月一日午前〇時	歳旦祭（さいたんさい）
一月一日午前七時二分	初日の出遥拝式
一月二日午前八時三十分	日供始祭（につくはじめさい）
一月三日午前八時三十分	元始祭（げんしさい）
一月七日午前九時	昭和天皇祭遙拝式
一月十日午前八時三十分	天智天皇祭（天智天皇のご命日）
一月十一日午前十時	かるた名人位クイーン位決定戦
一月十二日午前九時	かるた祭
一月五・十二・十三日	高松宮記念杯全国競技かるた大会
一月十五日午前十時	古神札焼納祭
二月三日午前十時	節分祭
二月十一日午前十時	紀元節祭
二月二十三日午前十時	天長節祭・律令祭

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumi-jingu.org/>「日供神饌講」ページ